

広報

あいあい

山車復活!

ふれあい福祉祭り

日本武尊山車

ヤマトケル

90年ぶりのお披露目



1934年、二荒山神社の菊水祭で巡行して以来、姿を消した旧茂登町の日本武尊（やまとたける）山車が、「宮のにぎわい山車復活プロジェクト」によって復元され、1月28日、西原小学校庭で地域にお披露目された。

昨年の福祉祭り、みこし祭りのいずれかで披露する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で巡行が延期。この度、歳末助け合い事業のふれあい福祉祭りのメインイベントとして、お披露目が叶った。

復元作業は2020年4月から始めた。残存物は劣化した人形のみだったというが、衣裳の修復や山車の龍と戦う海の波しぶき（波彩色彫刻）などが、色鮮やかに復元されており、地域の人々はその勇姿に魅せられ感動の拍手を送った。

主催者やプロジェクトリーダーらの挨拶のあと、狩野嘉宏さんの篠笛の演奏や、西原子どもお囃子会による五段囃子の演奏が行われ、会場の雰囲気盛り上げた。

人形は宇都宮市の所有物として上河内民俗資料館の収蔵庫に保管されてきたが、今後は、西原地域に由来する伝統文化財として蓬萊町彩色彫刻屋台と共に、一条中学校跡地に建設予定の店舗の一部に展示することを要望し現在署名活動を行っている。

主な内容

表紙 日本武尊山車お披露目

3P あなたの町の民生委員は？

知っていますか？ あなたの町の民生委員



(令和4年12月1日に一斉改選されました)



新会長
岡田晃司さん
自宅/633-0894
携帯/080-1056-0742

どんなことでも
お気軽に
ご相談ください

本年は3年に一度の民生委員改選年にあたり、西原地区では6人が退会し5人が新たに着任した。近年、全国的に民生委員のなり手不足が問題になっている。これまで西原地区の委員の欠員はなかったが、今回は初めて1名欠員となった。新しい担当地区割と共に紹介する。

名まえ	担当区域
岡田 晃 司	西原3丁目、一条4丁目5番23~28
長 島 幸 雄	大寛2丁目1~4、8~10、操町5・8・9、西2丁目4-23~30、5-19~21、6-15~20
山 形 里 子	新町1丁目、菊水町1~5
増 淵 祥 子	花房2丁目
池 田 典 子	花房本町、花房3丁目
鈴 木 加 代 子	花園町1~4、5番3~11号、13番~17番
稲 見 眞 佐 起	花房1丁目
中 山 哲 夫	菊水町6~14
直 井 操	京町全域
瀬野尾 一二三	花園町5番1~2、12~17号、6番~12番
阿久津 秀 昭	新町2丁目
大河原 隆 子	西原1丁目、西3丁目33~42番
山 本 眞 佐 子	西原2丁目、一条3丁目25~35、西3丁目5番25~31
片 寄 一 男	六道町全域
大 木 直 俊	主任児童委員
町 井 由 紀 子	主任児童委員



◆コミセン工事終了

昨年末から始まったコミセンの空調工事が1月末に終了し、室内も快適に復活し、通常モードとなった。



今年度のいきいきライブの最終回は、12月7日「皆でゴスペル！免疫力アップ」と題して、山中陽子ゴスペルな仲間たちによるサロンコンサートが行われた。歌うことが好きな参加者が多く、クリスマスソングなどで大いに盛り上がった。



◆いきいきライブでゴスペル



1月15日、どんど焼が開催された。未だコロナ禍であるため、模擬店やまゆ玉の販売はなかったが、地域の伝統行事のひとつとして続けられていることは関係者の尽力によるものだ。神職の祝詞と丁寧なお払いのあと、点火。高く燃え上がった炎に、集まった人々は無病息災やコロナの収束を祈願した。



★第33回 西原どんど焼

11月29日、第15回宇都宮市老人クラブのつどいが、文化会館小ホールにて、参加人数を制限して3年ぶりに開催された。優良老人クラブとして「花園西部長寿会」「花房本町悠遊会」が表彰され、新規クラブとして「昭和通り慶寿会」に感謝状が贈られた。また、「西原川向盛寿会」には県老連の活動賞が授与された。同時に開催された作品展示会には、有本善子さん、刀秀夫さん、望月峰子さん、檜山和子さんらが、絵画や写真、手工芸品を出品しており、好評であった。



◆第15回老人クラブのつどい

あいあいサイト

◆英巖寺入口に駐車場

花房本町自治会に管理を任されている英巖寺跡地。1月から2月にかけて行われた工事が終了し、このほど入口に駐車場ができるなど立派に生まれ変わった。
 まだ春の花は見られないが梅が咲き始めたのでぜひ足を伸ばしてみてください！



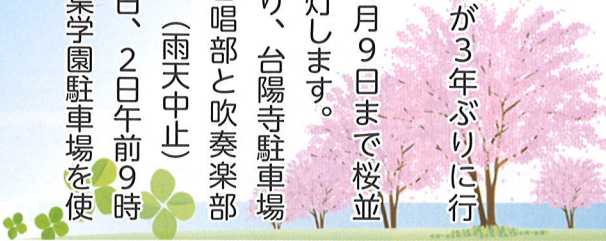
お知らせ

新川さくら祭りが3年ぶりに行われます。

3月25日から4月9日まで桜並木にぼんぼりを点灯します。

4月2日10時より、台陽寺駐車場において一条中合唱部と吹奏楽部の演奏を行います。(雨天中止)

駐車場は4月1日、2日午前9時から午後6時、青葉学園駐車場を使用できます。



●趣味ゆうゆう

天体観測

片寄一男さん

木星 (赤斑が出ている)



中接近の火星



442年ぶりの惑星 (天王星) 食



口径20cm焦点距離2000ミリのシュミカセ反射望遠鏡を使用、自動追尾(地球の自転に合わせる)で観測。いずれも昨年11月から12月にかけて自宅にて撮影。

「今の子どもが大きくなるころに人類は火星を目指すかも。この数年で月にコロニーが、その前に月周回軌道に宇宙ステーションができるでしょう。夢が膨らみます」
 片寄さん談

《あとがき》日本武尊山車が造られた1883年頃ほどんな暮らしたのだらう。それから51年後に最終巡行、さらに89年後の2023年、永い眠りから目覚め再び山車の上からこの町や人々を見下ろすことになった日本武尊の目に、時代のスピード感が恐ろしく速くなっているこの世界はどのように映っているのか。

いにしえ 古を訪ねて

お囃子と共に30年

松野清三郎さん 85才(六道町)



昭和40年に六道町に居を構えた。
 長女・裕子さんが西原小学校2年生のときにPTA役員に加わった。以来、今日に至るまで様々な地域活動に貢献してきた。現在も青少年育成会会長を務める。

市制100周年を賑やかに祝いたいとの市長の発案で各小学校にお囃子会が誕生した。「宮隠お囃子会」と名付けた。名前の由来はお囃子の先生の自治会名からとったそう。心も踊る軽やかな太鼓、笛、鐘の響きは、その場を盛り上げてくれる地域行事には欠かせない存在だ。

当初は大人と子どもを合わせて30名いた会員も時代のおおりで13名と激減し存続も危ぶまれる。「受け継いだことだから続けるだけ」と、淡々と語る口調に30年間世話役を続けてきた人柄がにじみ出る。その背中を見て育った裕子さんと孫の翔太さんは、太鼓、笛、鐘を弾き親子でその後が続く。加速するハイテク社会だからこそ日本情緒を奏でる古き良き伝統芸能を地域で守っていききたいものだ。

